

計画第3期突入！ CS 本格実施へ

小中一貫・CS 通信

NO.28 R3.7.30 幕別町教育委員会 学校教育推進員

緊急事態宣言やまん延防止等重点措置で行事の変更を余儀なくされた1学期でしたが、21日の終業式で無事終了し、みなさんホッとしているところだと思います。重点措置は7月11日をもって解除されましたが、リバウンドの防止と段階的緩和の観点から、8月22日までの期間、全道で「夏の再拡大防止特別対策」に取り組むことになりました。マスク着用、手指消毒、三密回避、4人以内の飲食等、これまでと変わらないウィズコロナの日常となります。ワクチンの高齢者接種や職域接種が進む幕別町ではありますが、まだまだ気の許せない日々が続きそうです。夏季休業期間中に、心と体にエネルギーを補給して2学期に備えましょう。

今月は、札内東学園の2つの取組の様子を中心にお知らせします。

第1回中学校登校実施 7/19 札内東学園

札内東学園の学習指導部が中心となって企画・運営を行いました。緊急事態宣言は解除されましたが、本町において継続して感染防止策を実施していくことになり、年度当初の計画を変更して実施することにしました。

3密を避けるために、白人小学校と北小学校を別の時間帯に分けて実施しました。そのため、当初予定していた「小学校同士の交流」や「中学生との交流」は中止し、校舎巡り、廊下からの中学生の授業の様子



校舎巡り・授業見学 白人小

の見学、音楽の授業体験（両校同内容）を行いました。

わずか50分間の中学校登校でしたが、6年生はみなワクワクした面持ちで、希望に満ちた様子でした。特に音楽の体験授業では、早口言葉を用いた発声練習、地声と裏声の使い分け方、音を聞いてその楽器を当てるなどなど、楽しそうに取り組む姿が見られました。

音楽の体験授業
札北小



延期していた運営協議会開催！ ちゅうるい学園 7/8

7月8日(木)、忠類中学校で第1回ちゅうるい学園運営協議会が開かれました。5月に開催予定でしたが、緊急事態宣言を受けて急遽延期された会合です。会議の冒頭で、教育委員会から協議会委員に委嘱状が交付されました。会長挨拶のあと、経過報告が白井学園長、仲副学園長、加藤会長からなされ、協議事項に入りました。

まず、忠類小学校、忠類中学校それぞれの経営方針について説明され、承認されました。次いで学園の教育活動について白井学園長から説明があり協議のうえ了承されました。3点目に、めざす子ども像について仲副学園長から提案があり、今後「じりつ」を基本にしながら熟議の中で具体化を検討することになりました。最後に、「運営協議会と学園のつながりを強めるために」をテーマに意見交換し、参観日や教育の日に積極的に学校に行くこと、キャリアバンクの充実等の貴重な意見が出されました。



対面による会合を追求して開催した運営協議会、やはり顔を突き合わせての話し合いは、理解も深まり充実したものになることを、改めて感じさせるものとなりました。

三校を結んでリモート開催！ 7/20 合同研修会 札内東学園



講師に発達支援センターの八重柏一輝さんを招き、「個に応じた支援をするために」という題名で講演をしていただきました。主な内容はペアレントトレーニングを行うことで、保護者と子どもとの関わりを良い方向に導き、自信をもって子育てができるようにすることができるとの理由についてのお話でした。感情的に子どもに接するのではなく、子どもの行動に対してどのように関わるのが、子どもにとって良い成長を促すことになることを説明されていました。ペアレントトレーニングに関わらず、日常の教育活動の中で参考になることがたくさんあり、参加者の感想からも、明日からの実践に役に立つとの声が多く出されていました。リモートでの開催となり、質疑応答はできませんでしたが、研修の機会をなかなかもてない先生方には大変貴重な時間となりました。

小中合同七夕企画！ まくべつ学園

5・6年生を対象にした「小中合同七夕企画」を中学校生徒会の発案で実施しました。短冊には、将来の夢やコロナの終息等、それぞれの思いが詰まったものとなりました。児童会生徒会の活動を通して、お互いを知るきっかけとなることを期待しています。



7月16日（金）に第3回三役会議が行われ、これまでの活動の振り返りと2学期以降の活動について確認しました。新たな内容として合同研修会（12月13日～17日の週に実施）が予定に入り、今後準備を進めていくことになりました。

計画的に業務推進！ 7月定例経営会議 7/9 糠内学園

7月の定例経営会議では、各部会の取組の確認や三校の情報交流などが行われました。ICT活用の進捗状況や糠内学園スタンダードの振り返りについて確認したこと（変える力部会）や参観日交流を2学期に延期して実施すること（つながる力部会）などが報告されました。このほか、第1回の学園評価を1学期末に行うことも確認され、情報交流では全国学力・学習状況調査の結果と傾向の交流、部活の在り方の検討状況、畑☆酪プロジェクトの取組の様子なども交流されました。毎月の定例会議の効果が徐々に表れてきています。

小1と中3の交流も！ ちゅうるい学園 7月の取組

7月2日（金）、小中合同の漢字検定が忠類中学校で行われました。当日は、小学生5名、中学生5名が受験しました。今回は、小学2年生も受験していました。7月9日（金）は、小中一貫教育の活動の1つ授業参観がありました。今回は、6年生の理科「てこ」の授業の参観です。さっそく、Chromebook



を使って個人の考えを仲間と共有していました。

7月15日（木）には、忠類小1年生が学年PTA事業で中学校を訪問し「中学校探検」をしました。伝統楽器の箏やパソコンを触らせてもらったり、学園最高学年の中学3年生と体育の授業と一緒にレクリエーションを楽しんだりして交流しました。

普段なら決して交わることのない小1と中3がこうして交流できるのは小中一貫教育ならではのことで、こうした企画を今後とも進めたいものです。

